

みんなの電気を賢く使う エネルギー・リソース・ アグリゲーション・ビジネス(ERAB)

「エネルギー・リソース・アグリゲーション・ビジネス (ERAB)」は蓄電池等の分散型エネルギーリソースを多数束ねてコントロールし、仮定の発電所 (Virtual Power Plant) のように機能させることで、再生可能エネルギーの活用促進、災害時のレジリエンス向上、経済的な電力システムの構築に資する次世代のエネルギービジネスです。

再エネを 有効活用

電気の需要と供給をコントロールし、天候により変動する再エネを最大限活用することで、再エネ導入の促進に貢献。

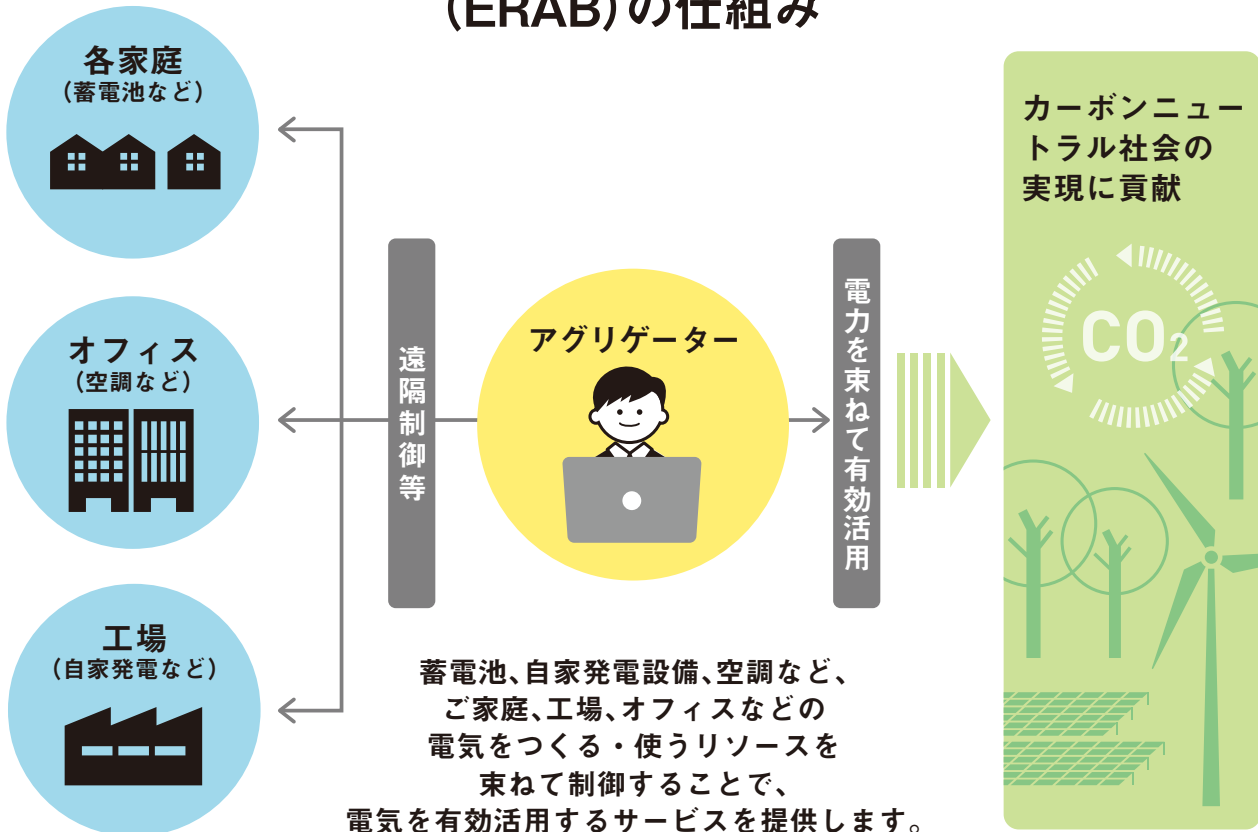
災害レジリエンスの 向上

分散型エネルギーリソースを活用することで、災害時にも電気を供給する等、電力システムのレジリエンス向上に貢献。

経済的な 電力システムの構築

分散型エネルギーリソースからの電力を活用することで、大規模発電所の設備投資等を抑制し、経済的な電力システムを実現。

エネルギー・リソース・アグリゲーション・ビジネス (ERAB)の仕組み



Q1 アグリゲーターとは？

- ・アグリゲーターとは、契約に基づき皆様が保有する自家発電設備・空調・蓄電池等のリソースを遠隔制御することで電力を束ねる事業者のことでです。
- ・分散型エネルギーリソースを所有する方は、アグリゲーターと契約することで、エネルギー・リソース・アグリゲーション・ビジネスに参加することができます。

Q2 どんな事業者がアグリゲーターとして活動しているの？

- ・各リソースの制御を担うアグリゲーターのうち、一定の要件を満たすアグリゲーターは2022年4月より、「特定卸供給事業者」として、資源エネルギー庁への届出が必要になります。
- ・これらの届出事業者は、2022年4月より資源エネルギー庁HPで公表する予定です。


Q3 活用できる分散型エネルギーリソースは？ 主な例↓

空調




- ・業務用用途など、一定規模以上のもの

蓄電池



- ・一定規模のあるもの
- ・常時運転しており、出力制御が可能なもの

照明




- ・執務者の業務に影響を与えない共用部のもの
- ・調光率制御がしやすいLED照明など

蓄熱槽



- ・一定規模以上の蓄熱空調システムなど

生産設備



- ・一定程度の電力負荷があり、生産調整等による電力需要制御が可能なもの
- ・常用運転している生産ラインなど


例 電気溶解炉
セメント攪拌機、粉砕機
ティッシュロール製造機
プラスチック押出成形機
電解槽

電気自動車 (EV)




- ・充電器・充放電器等を通じた制御が可能なもの

自家発電設備



- ・一定規模のあるもの
- ・常時運転しており、出力制御が可能なもの

エネファーム



- ・外部通信等による制御が可能なもの

- 活用可能な分散型エネルギーリソースはアグリゲーターによっても異なります。保有するリソースが活用可能かどうかなどの詳細は、各アグリゲーターにお問い合わせください。
- 家庭用蓄電池等の勧誘トラブルが報告されています。事業者の突然の訪問を受けてもその場で契約はせず、よく検討しましょう。詳細は下記の国民生活センターのホームページをご覧ください。
http://www.kokusen.go.jp/news/data/n-20210603_2.html



ERABの詳細や国の取組などについて、下記ホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。資源エネルギー庁ホームページ「バーチャルパワープラント・ダイヤモンドリスponsについて」
https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/advanced_systems/vpp_dr/

